



今月の一枚

刈谷市社会福祉協議会の指導によるポッチャの講習会（8月1日、順慶寺本堂にて、岡川経康氏撮影）

# 順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺  
2024年(令和6年)

9月号  
VOL.371

## ◆◆ はじめの一步 ◆◆

順慶寺にて有志で行っている寺カフェでは、様々な催しを通して人を集めている。8月には、寺カフェの主催で刈谷市社会福祉協議会が積極的に振興しているポッチャの講習会を開き、順慶寺子ども会の皆さんが参加した。こうした催しを通して、お寺とご縁が広がっていけば幸いである。

### ◆ 自らを律することの難しさ ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「自分こそが自分の主である。  
他人がどうして主でありえようか。  
自己をよく制したならば  
得難い主が得られる。」（第一〇偈より）  
からの出典です。

このお釈迦さまのお言葉は、古くから大切にされたお言葉ですが、重用なのは自分自身をよく制することが必要だとされているところです。自分の思いや感情を出す場合に、自身がそのことを制することができなければ、どんなに愛情が深くても、結局、周りに害を与えることになる。そのことは、いつも私たちが心しておかなければならないことです。

今月の一節は、王舎城の長者の娘で、若い頃から釈尊の教えに心引かれ、結婚後、理解ある夫の許しを得て出家して①比丘尼となった女性の話のもとになっています。

この女性は、比丘尼となって間もなく懐妊の兆候が現れたため、出家後に戒律をやぶった

### 今月の釈尊の言葉

自らを知り

自己をよく制すれば

得難い主が得られる

『ダンマパダ』  
160 偈より

### 若院のテーマカット NO.64



のではないかと大問題になりました。そのとき、比丘尼の長老が仲裁に入り、子供は出家前に夫との間にできた子供であると判定されました。その後、子供は、コーサラ国のパセナデイ王に引き取られ、出家をして努力と精進を重ね、クマラー・カツサパと呼ばれる、国中の尊敬を集める比丘尼となりました。

ある日、クマラーの母親が、同じ比丘尼として目の前を歩くクマラーの姿を見て、思わず、「わが子よ！わが子よ！」と叫び、クマラーの衣を掴んで転倒しました。すると、クマラーは、「何をしておられるのですか、今なお愛着を絶つこ

とができないのですか」と無慈悲には  
ね除けました。そして、そのまま立ち  
去るクマラの姿を見て、ようやく母  
親は釈尊の教えに立ち返ることができ  
たといえます。

愛欲は、自身を苦しめるのだと釈  
尊の教えを息子クマラから教えられ  
たのでした。

◇ 恩愛の中で自分を信すること ◇

葬儀の際などに導師が、  
「流転三界中 恩愛不能断 棄恩入  
無為 眞実報恩者」(『清信士度人経』  
と称えながらお剃刀をあて、今生の  
恩愛から離れて、お釈迦様のお弟子  
となるべく法名を与える儀式を帰敬  
式といいます。眞宗では、法名は、生  
前に受けるべきものとされていますが  
この恩愛から離れることができないの  
で、なかなか法名を受ける踏ん切りが

つかないのが実状です。

かつて、曾我量深氏が、米寿の記  
念講演で「法蔵菩薩」という題でお  
話された記念碑的な講演があります。  
その一節に、

「自分はほんとうにこの自分を信ずる  
ものであるからして、絶対無限の仏さ  
まは、また、私どもをほんとうに信じ  
ほんとうに愛し、そして、この仏の本  
願力をもって私を助けて下さる。」

とおっしゃっています。

私たちは、恩愛をよしとして、執着  
から離れられず、やがて愚痴になっ  
て行きます。老いて、病気になる、そ  
れでも恩愛に執着する身です。

曾我先生は、それでも自身を見捨  
てずに信ずることの大切さを教えられ  
ています。ここに至って、尊い主とし  
ての仏さまが、大きな慈悲をかけて下  
さっていたことに気付くのでしょうか。

①【比丘尼】

仏教における女性の出家修行者。男  
性の比丘に対する。仏教の尼僧。パー  
リ語のビクニの音写。サンスクリッ  
ト語ではビクシュニーという。語尾の  
ニーは女性形を示す。かつてインド(の  
みならず、世界のどこにも)に女性の  
出家者は存在しなかったが、釈迦の養  
母が切願して出家したのが比丘尼の最  
初といわれ、以後しだいに増加した。  
出家して戒を受け、それを保ち続け

②【清信士度人経】

男性の出家修行者の比丘とともに、仏  
教教団のもっとも重要な成員とされ  
る。(日本大百科全書より)  
出家をしようとする者が、父母等の恩  
愛の絆を断ち、仏道に入るために唱え  
る偈文。剃度作法で唱える偈文。恩  
愛から離れることで、眞実の世界に出  
会い、報恩の気持ちが湧き出でる。『平  
家物語』維盛出家の段にも登場する。  
日本では有名な一節。



「俱会一处」とあるお墓  
がありますが、何と  
いう意味なのですか。

「俱会一处」という言葉をよ  
く知っていましたね。

「俱会一处」という言葉は、私たち僧  
侶が読ませていただいている、『仏説  
阿弥陀経』に書いてあるお言葉です。  
私たちの生きている世界は、早く生ま  
れた人や遅く生まれた人、長生きする  
人や短命で亡くなる人もあります。で  
すから、同じ時間を生きていても、私  
より先に亡くなる人、私より後に亡く  
なる人もあります。つまり、みんな一

人で亡くなっていくのです。寂しいこ  
とですね。

折角生まれて、知り合えたのに別  
れていくのは辛いです。『仏説阿弥  
陀経』には、阿弥陀さまのお浄土では、  
いずれの人も「ともにひとつところ  
で会う」(俱会一处)と書いてあるの  
です。このお言葉を聞くと、大切な家  
族や友だちと別れても、またお浄土で  
会えるから、と希望が湧いてきますね。  
ですから、お墓には、「俱会一处」  
という言葉を書いて、また浄土で会え  
ますね、と気持ちを新たにするわけ  
です。

順慶寺でも、9月に五十回忌を迎  
えた方のお骨を、共同埋骨することに  
しています。五十回忌になると、法事  
も終わりになりますが、お骨も一つと  
ころに入れていくので、この儀式を「俱  
会一处式」と言っています。

《第五十三回 近きは遠き道理》

先日近くの総合運動公園でわ  
んさか祭りが開催されました。  
メインイベントでもある花火  
が今年も上がったのですが、毎  
年目の前で見られるものでは  
ていつているように思います。そ  
んな花火を横目に思い出した  
文が蓮如上人のこの言葉です。

遠きは近き道理、近きは遠  
き道理有り。灯台もと暗しとて  
仏法を不断聴聞する身は、御用  
を厚くかうぶりにていつものこと  
と思ひ法義におろそかなり。

あまりに身近過ぎると大切な  
ものも当たり前と思つて過ごし  
てしまう私にまた気付かされま  
した。

お寺とともに

猛暑の夏に

「境内のエアームスト、涼しいです  
ね」  
と、この夏は幾度か声をかけて  
いただきました。おもちゃのよう  
なやさやかなエアームストですが、炎  
天下のお墓参りに参詣される方  
の一助になれて幸いでした。

実は、このミスト、住職が数年  
前に準備した時には、「こんな要  
らないよ」と、家族からは大ブー  
イングだったのです。

また同様に二十年近く前に納骨  
堂の東屋を造る時も必要かどうか  
半信半疑でした。「わざわざ造る必  
要ある？」と。しかし、今では季  
節を問わず境内の休憩スポットで  
あり、雨よけ日除けの大きなお役  
目を果たしています。

温暖化で夏の気温は想像を超え  
無用と思われた東屋やミストもこ  
うして必須となりました。  
猛暑でもお詣りに来てくださる  
方々に、少しでも清涼感を感じて  
いただけるよう励んでいかなけれ  
ばと、夏を振り返っています。



順慶寺執事

祠堂新規上納者並びに俱会一処該当者

法名並びに名簿一覧

来たる九月十二日(木)、順慶寺において、祠堂法要(秋季永代経)が過去五十年間(昭和四十九年九月より令和六年八月、命日に関わらず上納から五十年間施主宅にご案内)に祠堂金を上納された方々への法要が開催されます。

昨年度(令和五年度)令和五年九月より令和六年八月、新たに祠堂金を順慶寺に上納され、御紐解き法要(祠堂開き)を執行させていただいた方々(または執行予定の方も含む)は、以下の通りです。

新規祠堂上納者一覧(敬称略)

- 為釋正欽 峯 正義
為生前祠堂 峯かずゑ
願主 峯かずゑ(知立市)
為慈恵院釋尼幸芳 磯村美幸
願主 磯村日出蔵(山ノ端組)
為陽明院釋尼妙照 横山照子
願主 横山政明(今川東組)

為清照院釋尼妙代 清水美代子

願主 清水安文(平松組)

為教行院釋顯證 塚本光顯

願主 塚本敏晶(今川西組)

為憶念院釋敬愛 岩瀬 稔

為想念院釋尼妙蔭 岩瀬ふさ

願主 岩瀬まさみ(名古屋屋市)

為堅清院釋正道 丸山正男

為釋尼氣鈴 丸山菊子

願主 堀内文子(高畑組)

為慈照院釋尼妙華 岡本みよか

願主 岡本正博(市場下組)

為法鼓院釋利通 杉浦利明

為静香院釋正敬 杉浦正直

願主 杉浦新八(知立市)

為誠心院釋尼治眼 加藤はるへ

願主 加藤敏之(碧南市)

注祠堂金は、三分の二を順慶寺の什物拡充などに充て、三分の一を護寺会金として、護寺会会計に積立をさせていただいています。

俱会一処該当者一覧(敬称略)

以下は、本年五十回忌(昭和50年没)で俱会一処を迎えた方の中で、当山須弥壇および納骨堂に納骨されたことが確認された方々です。祠堂法要の午後より、法要をして納骨堂の中に共同埋骨します。

- (命日) (俗名) (続柄)
1月24日 池田まつの 池田憲昭の母
1月25日 加藤けん 加藤政之助の妻
1月29日 志水和本子 志水勝弘の妻
2月1日 岡本和之 岡本克彦の父
2月14日 岡本ぬい 岡本彰の母
2月22日 池田金四郎 池田誠治の父
2月27日 清水芳雄 清水良一の養父
3月25日 神谷忠次郎 神谷昭徳の祖父
8月1日 堀田庄吉 堀田正弘の父
8月15日 志水さだ 志水保の母
11月7日 岡本源一郎 岡本博和の祖父
11月29日 志水正和 志水雁勇の父
11月29日 塚本為市 塚本國博の父
12月5日 鬼頭とよ 鬼頭春一の養母
12月13日 岡本はるえ 岡本克仁の義母
以上十五名

8月度護寺会物故者

順徳院釋勝孝

8月1日寂 岡本勝好(80)

今川西組 岡本憲幸様の父

常悦院釋勇仁

8月16日寂 佐藤 勇(87)

刈谷市 谷勇奈子様の父

釋精嘉

8月5日寂 河村嘉得(82)

刈谷市 河村光夫様の父

釋尼精華

8月23日寂 米津きり子(89)

名古屋屋市 米津直樹様の母

編集部短信

子ども会と寺カフェがコラボする8月1日(木)、順慶寺にて毎月1日に開催される寺カフェに子ども会が参加。刈谷市福祉協議会の皆さんが順慶寺にてポツチャの実演(一面写真)をしたために実現。当日は、お盆に向けておみがきも開催され、寺カフェは最高の人出となった。

盆会・風入会開催 8月3日(土)、順慶寺本堂にて盆会を開催。講師には西尾市から三浦真教氏を迎えて、満堂の参詣者があった。同時に、宝物が出されて、盆明けまで虫干しを兼ねて本堂と玄関に展示された。

参門会を開催 五十代を中心に組織された参門会が、8月15日に開催され、十名の参加があった。今年11月の報恩講で助音につくことなどを申し合わせた。

寺報製作用の紙揃え機調達 9月の寺報製作に合わせて、紙揃え機

編集雑記

今年の夏は初めて暑さに負けてしまいました。盆前に軽い熱中症にかかり、体調に気をつけていましたが、盆中も連日猛暑で、毎朝起きて今日は大丈夫かと身を案する始末。よく考えてみたら、前任職も還暦のころ熱中症に罹っていたことを思い出しました。(住)

一面にもありましたが、順慶寺では毎月子ども会を開催しています。先月は初めてスポーツを取り入れての開催でしたのでうまく事が進むか不安でしたが、寺カフェや刈谷市社会福祉協議会のスタッフの皆さんの厚意の元、円滑に進行することができました。(若)



# 9月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	日	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他)	
2	月	おたのしみ会(14:00、順慶寺本堂)	
3	火		
4	水		
5	木		木-1
6	金		
7	土	助音講(16:00、順慶寺玄関)	
8	日		
9	月		
10	火	大掃除(8:00、順慶寺)	
11	水		
12	木	祠堂法要・俱会一处式(下記参照、順慶寺)	木-2
13	金		
14	土		
15	日	真宗講座(16:00、順慶寺本堂)	

16	月	同朋ゼミ(14:00、順慶寺玄関)	敬老の日
17	火		
18	水		
19	木		木-3
20	金		
21	土	順慶寺子ども会(9:00、順慶寺庫裏) みのり会追弔会(10:00、順慶寺)	
22	日		秋分の日
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		木-4
27	金		
28	土	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	日		
30	月		

## 9月行事内容 詳細

### 祠堂法要・俱会一处式

9月12日(木)

午前10時・午後1時 順慶寺本堂

法話 西麗要義 伊奈祐諦氏

順慶寺に過去五十年間(昭和49年9月から令和6年8月)に祠堂があがっている方に対する、祠堂法要を厳修いたします。

昨年よりすべての行事を以前の形に戻しております。祠堂法要でも本堂の参詣席の規制を撤廃いたしますので、通知のあった方々、また、

法話の聴聞を希望される方は遠慮無く御参詣ください。

※同日午後から、今年五十回忌を迎えた方のお骨を納骨堂下に埋骨する俱会一处式も実施いたします。

### 祠堂法要日程

9月12日(木) 午前10時から

会場:順慶寺

○10時~12時 祠堂法要

法話:伊奈祐諦氏(二席)

(お斎) 正午、庫裏及び書院にて

○13時~15時 俱会一处式・祠堂法要

法話:伊奈祐諦氏(二席)

(おやつ) 午後の法話の休憩時

◎午前9時から10時半まで書院にてお抹茶接待があります。

## お知らせ

### ●順慶寺の帰敬式募集について

三年に一度、報恩講の初日に順慶寺本堂にて執行している、帰敬式(お剃刀を受けて、法名を頂く儀式)ですが、本年の報恩講の初日に実施する予定です。

前回は、コロナの関係で、一年実施を遅らせたことから、今回は二年間隔での実施となります。

護寺会員には、祠堂法要の案内と同時に、実施要項を配布いたします。

### ●祠堂法要の駐車場について

祠堂法要では、駐車場の確保に努力しています。順慶寺の駐車場(三十台収容)で、入りきれない場合は、近くの駐車場へ誘導させていただきます。ご了承ください。

### ●同朋ゼミの日に変更について

9月の同朋ゼミは、講師の都合により、16日(月)の午後2時から始めさせていただきます。ご了承ください。

### じゅんこのときめき歳時記

## 菊の節句

みなさん、8月も暑かったですね。先日テレビで、暑い夏にやる気がなくなるのは、もう遣伝子に暑い夏に体を守るように情報が組み込まれたためです、と言っていました。まだまだ、酷暑が続きますが、体調には気をつけていきましょう。

先日、9月9日が中国から伝わった五節句の一つだと聞きました。1月7日(人日の節句)、3月3日(桃の節句)、5月5日(端午の節句)、7月7日(七夕の節句)、9月9日(重陽の節句)と決められているそうです。その中で、奇数の月が陽の月で、9月が最後になるから重陽というそうです。

9月に節句があるとは知りませんでした。九日を「くんち」と呼んで、長崎などでお祭りしているのは有名ですね。宮中では、旧暦の9月(10月中頃)に見頃になる菊を愛でることから、菊の節句とも言われたそうです。

### 仏にも

### 神にも手向け菊の酒

針ヶ谷里三

